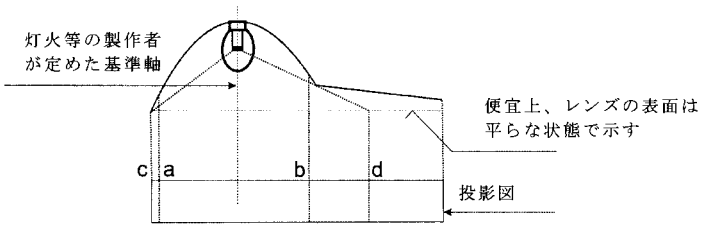
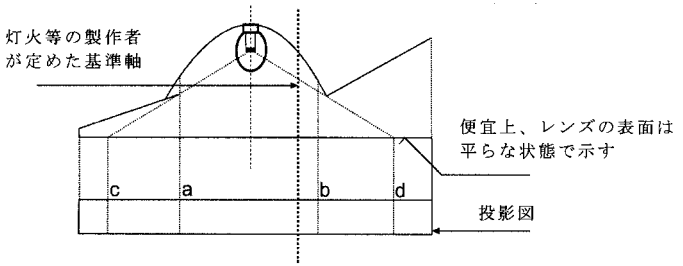
図６　照射面との比較における発光面の決定を示す例
（本技術基準2.6.及び2.7.関係）
注：反射光が発光面の決定に寄与することも認められる。
例Ａ：



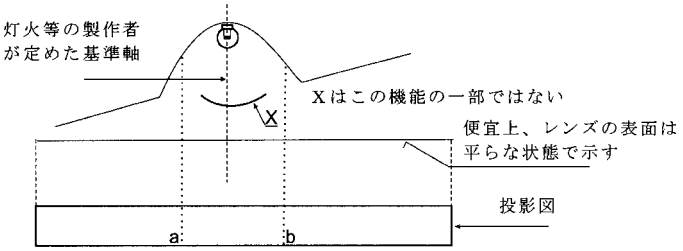
	照射面	2.6(a)に従って定められた発光面
範囲	a-b間	c-d間

例Ｂ：



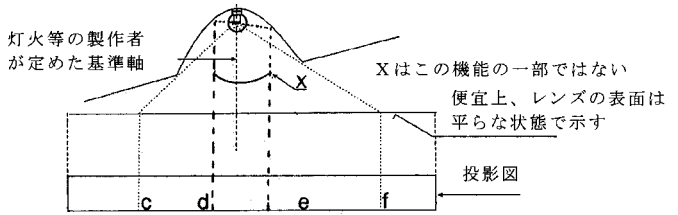
	照射面	2.6(a)に従って定められた発光面
範囲	a-b間	c-d間

例Ｃ：
当該機能の一部ではない区域を組み合わせた照射面を決定するための例：



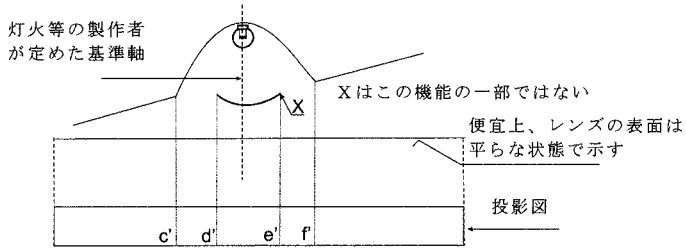
	照射面
範囲	a-b間

例Ｄ：
当該機能の一部ではない区域を組み合わせた2.6.(a)に基づく発光面を決定するための例：



	2.6(a)に従って定められた発光面
範囲	c-d間及びe-f間

例Ｅ：
当該機能の一部ではない区域ならびにレンズカット等の加工がされていない外側レンズを組み合わせた見かけの表面を決定するための例（2.6.(b)に基づく）：



	2.6(b)に従って定められた発光面。例えば
範囲	c'-d'間及びe'-f'間

図７　２つの機能の相互組み込みに関する決定を下すための例
レンズカット等の加工がされた外側レンズを有し、間に仕切りがある場合：

